

## Ⅱ 普及活動

### 1 美術講演・講座

講演講座を実施することにより、美術に対する理解を深め、教育普及に資するとともに展示事業の広報にも役立て、県民の美術への親しみや関心を高める。

#### (1)美術講演会

期 日	会 場	講 演 名	講 師	内 容	参加人数
18・7・29	アルスホール	私の美術人生	遠藤彰子	幼少のころから絵が好きであったこと、絵画制作を続けてこられたことへの感謝、作風の変遷についての自己分析など、作家自身の温かみある言葉で語られた。会場には、展覧会に出品されている挿図原画の小説家、篠田節子氏も来場し、作家への言葉をいただいた。	140
合計					140

#### (2)ギャラリートークなど

期 日	会 場	講 演 名	講師・出演者	内 容	参加人数
18・5・6	展示室	ギャラリートーク (講師による作品解説)	今井美樹 (京都造形芸術大学講師)	本展監修者でもある今井美樹氏を招き、光の魔術師インゴマウラー展の会場でギャラリートークを実施した。客層は大学生など20代も多く、質問も活発で、デザインに対する若い世代の関心の高さを思わせた。	34
18・7・23	展示室	スペシャルトーク	針生一郎 (美術評論家) 遠藤彰子 (画家)	針生一郎氏のご厚意により、遠藤彰子氏との会場トークを当館主任学芸員外館和子の司会進行で実施した。遠藤氏の作品を初期から見てきた針生氏は日本で数少ない都市を描ける作家と評し、会場からも質問を受けるなど、来場者には嬉しいハプニングとなった。	24
18・8・6	展示室	ギャラリートーク 「作者が語る」	遠藤彰子	作者・遠藤彰子自身による作品の制作意図や背景、制作当時の思い出やエピソードについて、語っていただいた。ポッシュやブリューゲルが好きであること、妊娠中の制作の工夫など、具体的で興味深い話題に満ちたトークであった。	143
18・8・12	展示室	ギャラリートーク 「学芸員が語る」	舟木力英 (つくば美術館分館長)	本展覧会担当者である舟木力英分館長により、遠藤彰子の作品世界について、作家と同じ団塊世代であり、また展覧会担当者ならではの深い洞察に基づく解説を行った。	41
18・10・15	展示室	ギャラリートーク 「コレクションのみどころ」	外館和子 (つくば美術館主任学芸員)	展覧会担当である当館主任学芸員外館和子が、「茨城県近代美術館コレクション展―新収蔵品を中心に―」の作品を通して、版画・油彩画・日本画・水彩画といったジャンルの成立や近代洋画の流れ、それぞれの素材や技法などについて解説した。	43

期 日	会 場	講 演 名	講 師 ・ 出 演 者	内 容	参加人数
19・2・11	展示室	スペシャル会場 トーク 「筑波大学卒展に みる〈現代〉」	建島哲 (国立国際美術館長) 遠藤彰子 (画家) 外館和子 (つくば美術館主 任学芸員)	筑波大学芸術専門学群卒業制作展 (前期) 会 場で、外部講師による公開ギャラリートーク を実施した。前期展の芸術学・美術のうち、 美術 (洋画・日本画・彫塑・書・版画) につ いて受賞作を中心に、それぞれの立場から解 説した。	85
19・2・18	展示室	スペシャル会場 トーク 「筑波大学卒展に みる〈現代〉」	渡部誠一 (岐阜県現代陶芸 美術館学芸部長) 井上雅之 (陶芸家・多摩美術 大学教授) 外館和子 (つくば美術館主 任学芸員)	前期展に引き続き、筑波大学芸術専門学群卒 業制作展 (後期) 会場で、外部講師による公 開ギャラリートークを実施した。後期展の構 成 (総合造形・クラフト・構成・ビジュアルデ ザイン) 及びデザイン (情報デザイン・プロ ダクトデザイン・環境デザイン・建築デザイ ン) について受賞作を中心にそれぞれの立場 から解説し、また一般来場者や、学生とのや りとりも交えコミュニケーションの場とした。	153
合計					523

## (3) ワークショップ

期 日	会 場	テ ー マ	講 師	内 容	参加人数
18・5・3	講座室	「ランプシェードを つくろう」	佐藤陽香 (画家・造形作家)	インゴ・マウラー展にちなみ、小学生を対象 に、自然物を含むさまざまな素材を使いオリ ジナルのランプを作るという体験を通して、 照明にまつわる自由な発想を促し、インゴ・ マウラーの照明デザインのユニークさの理解 を深める機会とした。	17
18・5・14	講座室	「ランプシェードを つくろう」	佐藤陽香 (画家・造形作家)	和紙に水彩、小枝などを用いたランプシェー ドの制作を、小学生だけでなく、中学生以上 の大人に対しても実施し、広く、さまざまな 世代が、マウラーの発想や照明デザインに関 する理解を深める機会とした。	25
17・10・8	美術館屋 外展示場	屋外ワークショップ 「模様でつくる」	美術館職員 美術館 ボラン ティア	ボランティアや職員がアイデアを出し合い指 導者として実施した生涯学習フェスティバル 参加事業。折り紙や空き瓶など身近な材料を 利用し、紙を折る、ハサミで切る、糊で貼る という単純な作業を通して老若男女を問わず 意外性のある装飾模様の創作を楽しんだ。	83
合計					125

## (4) つくばキッズアーティストクラブ

学校週5日制対応事業として、平成14年度に創設した子ども向け造形教室。小学校4年生から中学1年生までのクラブ生が講師である若手アーティストたちとの交流をしながら制作活動に励む。土曜日の午後に実施。

活動月	講 座 名	講 師	内 容	参加延べ人数
6/3, 10, 17, 24	モビールをつくろう	佐藤陽香 (画家・造形作家)	自然素材などを用いてモビールを制作。	63

活動月	講座名	講師	内容	参加延べ人数
8/26・9/2, 9, 30	アニメーションをつくろう	江口拓人 (メディアアーティスト)	驚き盤, 升目を埋めて作る動画等を制作。	29
11/4, 11, 18, 25	描いたものをたくさん刷ろう	岩佐徹 (版画家)	牛乳パック, 感光性ポリマープレートを用いた版画を制作。	34
2/3, 10, 17, 24	でっかい絵を描くぞ	佐藤陽香 (画家)	板の準備に始まる屏風絵を制作。	49
合計				175

## (5)作家と語る

貸しギャラリーでの展覧会場で、作品解説を中心とした作家のギャラリートークやギャラリーコンサートを開催した。

開催日	会場	展覧会名	タイトル	講師	参加人数
18・6・18	展示室	第4回現代童画会つくば地区展	展示作品の公開勉強会	出品作家	36
18・11・11	展示室	第25回茗溪学園美術展	ミュージアムコンサート	ジャッキー・デイリー 守安功 守安雅子 田中潤一	196
18・11・12	展示室	第25回茗溪学園美術展	ギャラリートーク	茗溪学園美術担当 教諭 つくば分館長	140
18・11・12	展示室	第25回茗溪学園美術展	書道実演	茗溪学園書道担当 教諭	135
18・11・19	展示室	第22回筑波大学大学院修士課程 芸術研究科 洋画・日本画・版 画作品展	作品講評会	筑波大学担当教員 展覧会出品学生	42
18・12・3	展示室	第61回県南高等学校連合美術展	作品講評会	つくば分館長	116
18・3・4	講座室	第6回チャレンジアートフェス ティバル in つくば	ワークショップ「動くアート・ ロボットを作ろう」	加藤伸子 伊藤三千代 (筑波技術大学)	27
合計					692

## (6)クロッキーの会

毎月第1火曜日、講座室

モデルを使ったクロッキー会を開催している。

総参加者数 257人

## (7)絵画教室

毎月第3火曜日、講座室

人物画、静物画などのテーマを決めて制作に取り組む。  
月1回開催。美術への関心を深めることを目的として実施している。

総参加者数 104人

## 2 コンピュータグラフィックス（講座室）

講座室内に3つのブースを設置し、臨時職員を指導者として配置している。小学生を中心に幼児から老人まで幅広く利用されている。また、幼児、小学生用の画集や絵本、図工書を備えた書架を設置している。

総利用者数 2,349人

## 3 ビデオライブラリー（講座室）

2つのブースを設置し、美術史や技法及び作家紹介のソフト、子ども向けのアニメーションソフトを40巻の中から選択して自由に視聴することができる。

ビデオ内容：美術史、技法、作家紹介、アニメーションなど約350本を所有している。

総利用者数 1,602人

## 4 博物館実習

●概要 博物館法第5条第1項第1号に該当するものを対象とし、当館の活動に携わることを通して、体験的に学芸員の職務の理解に資することを目的に、各大学からの依頼に基づき実施している。

●参加人数 10人

●実習内容

期 日	演 題	内 容	指 導
7月25日(火)	施設としての美術館	自己紹介・職員紹介・館内での決まりごとつくば美術館の1年間予算の仕組、意思決定や事務処理のための手順を知る。どのような書式・書類があるか。視察・観察：建物としての美術館はどのようになっているのか。レポート作成と発表	舟木
7月26日(水) 現地美術館前集合	館外視察と研修	午前：東京国立近代美術館吉原治郎展視察 午後：同工芸館にて（タッチ&トークの実際）	外館
7月27日(木)	展覧会の実務業作品の取り扱い（陶芸等）	開催要項、借用書、承諾書、ファシリティーズ・レポート、コンディッション・レポートなどの作成チラシ・ポスター・キャプション・参考パネル・ポスター配布作業、印刷物の校正図録作成桐箱と紐の結び方、作品の持ち方、検品の仕方など	舟木 外館
7月28日(金)	備品および資料整理の実際と展覧会備品の取り扱い準備室・書庫・印刷室・会議室・収蔵庫での作業	高所作業台）図録整理備品・展示器具器材の具体的な扱い方、および作業（機材整理）作品点検、作品展示配列法、照明法、温湿度点検、GT、キャプション警備、防犯、防火、防災、空調について講座・講演会・ワークショップ（キッズAC）、と具体的展示指導内容（ワイヤー、釘うち、壁面点検、可動パネル	舟木
7月29日(土) 遠藤彰子講演会実施日	講演会の準備と整理PC展示室での実習講座室での実習	HPの作成と更新監視体験CG指導など	外館 山本 水家
7月30日(日)	講話質疑・応答まとめ	レポート作成	舟木 外館

●参加大学 明星大学 筑波大学 横浜美術短期大学 帝京大学 茨城大学 大正大学 東京造形大学 共立女子大学

## 5 ホームページ (http://www.tsukuba.museum.ibk.ed.jp)

●概要 美術館を利用する方の利便を図り、美術館の情報を発信することを目的としてホームページを作成し、美術館の展覧会やイベント案内、貸しギャラリー等の利用案内に係る情報発信を行なっている。

●ページ構成 (平成19年3月現在)

1. トップページ
2. 展覧会のご案内 (今週の展覧会の紹介や予告)  
美術館からのお知らせ
3. 企画展一覧
  - 展示予定
  - うれしいニュース
  - クロッキー・絵画の会
  - ボランティア活動
  - 貸しギャラリー
  - 採用情報
  - 地図・案内
  - 施設紹介
  - 関連リンク



つくば美術館ホームページ

●特徴

1. 美術館の入口をイメージした表紙をデザインしている。
  2. 現在の展覧会の案内を一番見やすい位置に設置している。貸しギャラリーの期間には予告の案内も追加する。美術館からのお知らせとしてさまざまな最新情報をその都度更新している。
  3. 知りたい情報にアクセスしやすく項目を設けている。
  4. ホームページの作成を職員自らがを行い、毎週内容を更新している。
- アクセス数 約60,000件  
担当：水家実和子

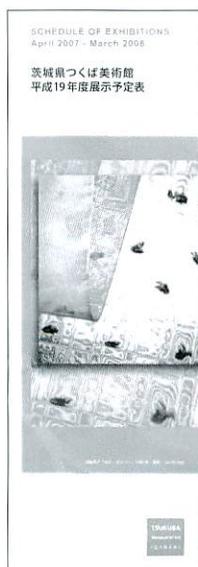
## 6 メールニュース

美術館の展示内容を紹介するニュースレターを、展覧会ごとに希望者に配信している。ホームページの美術館からのお知らせ欄から申込みを受け付けている。平成19年3月現在、58名に配信している。

担当：水家実和子

## 7 広報印刷物

●平成19年度展示予定表 平成19年2月28日



つくば19年度展示予定表